

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【有馬富士共生センター：出席者数：14人】

日時：6月26日（土）10：00～11：20

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>幼稚園再編が小学校再編のきっかけになることはないということですが、中学校では上野台中学校と八景中学校の統合が検討されていますので、幼稚園が認定こども園に再編できれば、小学校再編に繋がるということは誰が考えてもそう思います。オール三輪地区を見た場合、幼稚園が志手原に集約されるのであれば、当然のことながら小学校もそのような形で志手原に集約されるというのは、誰が考えても考え付くわけです。</p> <p>そうすると幼稚園だけの統廃合ではなく、小学校も今の時点からリンクというか計画、これが然るべきだと思いますが、そのあたりはどこまで進んでいますか。</p> <p>もう一つ、志手原地区はこちらの方に集約されるからそれ程、反対意見は出ないかと思いますが、高平地区などの他の地区は、志手原に集約されるのであれば、了解をいただけるというか、どのくらい賛否の意見があるのかを参考に教えてください。</p>	<p>幼稚園を再編するにあたって、他の地区の意見はどうかということですが、高平の方で反対のご意見があったということは事実ですし、そういうお声は聞いております。具体的に賛成や反対がどれくらいというところをお答えするのは難しいのですが、今回の意見交換会では、アンケート用紙をお渡しして、参加いただいた方がどのようなお考えをお持ちかということはお聞かせいただいて、その数字は公開をさせていただきたいと思っております。</p> <p>その数字を見る中で、ある程度判断をしていかないといけないと思っておりますが、どれくらいの反対、賛成であれば、どのような結論にするということは、ここでお答えするのは難しいところです。少なくとも、参加されている方だけになりますが、どのようなご意見をお持ちなのかというところを確認させていただこうと思っております。</p> <p>小学校の再編とリンクした計画が既にあるのではないかとご質問ですが、小規模化が進んでいるという課題・懸念というのは私どもも持ち合わせております。幼稚園の子ども、就学前の該当年齢の子ども数が減ってきているということは、数字として表れていますので、それが小学校にあがる年齢になれば、その子ども達しか小学校に入らないというところで小規模化が進むということは想像しているところです。</p> <p>ただし、皆様方にお示しをする、小学校についての計画というものは、まだ持ち合わせてはおりません。この計画というのは、今後どうするかということで、議会でもご質問をいただいておりますので、小規模化の課題に対する対策をどうするかということを考える時期に来ていると思います。幼稚園と違うと言えば、小学校は義務教育ということもあり、今までから地域に根差した学校運営をやってきておりますので、皆様方のご理解も十分に得る必要があると考えているところです。</p> <p>そういったことを踏まえまして、まずは小学校の小規模化に課題があるということ地域の方々と情報提供をしながらご相談をさせていただく中で、今後どうしていくかということ十分に検討させていただきたいと考えています。</p> <p>小学校と幼稚園がリンクして動いているかということ、まだそこまでの計画のまとめというのは持ち合わせていないという状況です。</p>

B	<p>この再編計画というのは、志手原にとって、子どもたち・園児にとっては大変良いと思います。ただ、志手原は上野台中学校区の中で一番端になります。なぜ中心の方に寄っていかないのですか。利便性のこともあるかと思いますが、そのあたりはどのようにお考えですか。</p> <p>上野台中学校も一番端にあります。校区の中心の方にみんなが寄ってくるような施設、教育施設は考えられないのですか。確かに、交通の便など、いろいろと考えられることもあろうかと思いますが、そのあたりについてお考えをお聞かせください。</p> <p>資料に「共に育ちあう環境」という形も書いてあります。先程も言われましたように、小学校もいずれ何か動きがあると思います。</p> <p>そういった中で、幼稚園がなくなり、小学校がなくなり、中学校がなくなり、地域の活性化というのがどこかでなくなってしまう。そういったところで、分散して、幼稚園はこのエリアに残していこう、小学校はこのエリアに残していこうという総合的な考えというのを教えていただきたい。</p>	<p>幼稚園再編した後の認定こども園をなぜ志手原なのかというご質問についてですが、エリア全体を見たときの地図上での位置というお話もあろうかとは思いますが。</p> <p>地域の中には幼稚園に通わせられる方だけではなく、保育の必要性があって長時間お預けになられるという方々も一定数いらっしゃることを示しました。先ほど地理的な中心にというお話もありましたが、皆さんの就業先としては、そちらの方に向かわれる可能性の方が高いのではないかと考えています。保護者の方がお預けになるときに、就業先に向かうところでお預けになれる方がより良いのではないかと考えているところです。今回の認定こども園は保育も行う施設としていますので、就業をされる可能性の高い方向ということで志手原を考えたというふうにご理解いただきたいと思います。</p> <p>ご意見の中では、幼稚園がなくなって、小学校がなくなって、中学校もなくなってというようなことがあれば、地域の活性化がどうなっていくのだろうという懸念があるというお話は、私たちも十分に理解していますし、地域にあるものがなくなるというところでお感じになる気持ちにつきましても共感させていただくところです。</p> <p>教育委員会から申しあげましたが、今の段階で小学校をどうするのかというところに、まだ言及できる状態ではありませんので、まずもって幼稚園については、私どもが考えている場所でのお話をさせていただいています。小学校については、まだ地域の皆さまとお話をする場面に入っているわけではありませんので、その中で、今おっしゃられたようなことについてもご意見としてお話をいただけることになると思います。</p>
C	<p>認定こども園が人口減少の抑制になると考えているという説明がありました。小学校については、どの地域、例えば志手原小学校に集約するという具体的な計画はないという意味だと思いますが、既に小学校は一学年2クラス、3クラスという基準を三田市はこの案の中に示しています。ということは、幼稚園再編の先に小学校の再編計画も出てくるということが目に見えているわけです。</p> <p>そうした中で、認定こども園によって人口減少が抑制できるような説明がありましたが、具体的にどのように抑制をして、人口がどうなっていくのかを示すべきだと思います。このままでは人口減少になって、大変な事態になるという脅しの話ばかりです。これに対して、具体的にこういう手立てをとったらこのようになるという展</p>	<p>人口減少の要因というのは様々で、少子化や若年層の流出も大きな要因の一つではないかというのはお示しているところです。</p> <p>若年層の流出の要因の中には、子育て世代が極端に減りつつあるという現状を見ますと、この農村地域に7時から19時までというような共働きをしながら子育てをできる施設がないというのも要因の一つではないかと考えているところです。</p> <p>もちろん人口減少の要因は一つではありませんが、そういった要因の一つと思われる若年層の流出をいかに抑制するかというのが一つ大きなポイントかと思っています。その観点から認定こども園化することによって、今は既成市街地やニュータウンへ子どもさんを預けに行かれている農村地域の子育て世代の皆さんが、この農村地域内で認定こども園にお預けいただけることにより、もちろん子</p>

	<p>望が一切出されていません。人数が一定規模になりますというだけであって、展望ではなく、数合わせだけです。この数合わせをしたら、どのような地域になっていくのかをまず示すことが最初ではないですか。いくら計画案の段階でも、それを示さないでこういう議論をしていくというのは、ちょっと脅しのような状況になります。</p>	<p>どもさんが集まっていたいただけることもありますし、地域にとどまっていたける、きっかけになるのではないかと考えております。</p> <p>このことをすることで人口が 100 人や 200 人増えるというようなことではありません。人口というのは、いろんな要素が絡まって増えたり、減ったりしていくものでございますので、皆さんには、こういった施設がもしできた暁には、こういった施設もできて、共働きしながらでもここに住めるようになる、これも考えてみたらというようなお声がけを若い世代の方にさせていただきたいと考えているところです。</p> <p>脅しと言われましたが、私たちが危機感を持っていますのは、子どもさんの学ぶ機会についてです。友だちをたくさん作りながら、友だち同士の関わりの中で学び合うということが、徐々に難しくなっている現状を危惧しているところです。</p> <p>その対策の一つとして集約をする。ただそれだけでは十分ではないということもありますので、子育て支援にも役に立つ認定こども園化を図るということを含めて、最終的には子どもさんの豊かな学び、学び合いが出来るような施設にしたいというのがこの再編計画案の趣旨です。</p>
D	<p>事前に協力いただいて、資料をいただきまして、PTA会員にこの資料を配布して意見を募集しましたが、意見はありませんでした。関心が薄いのか、お忙しいのか、わかりかねますが、一つ思ったことは、この資料だけでは伝えられない内容があると見ていて思いました。説明を受けて、人口減少や人口ピラミッドなど、そういう中でいろんな根拠を持ってなされているとは思いましたが、資料にしっかりとそれを明記してもらいたい。説明会に参加されない方がわからないという状態では絶対ダメだと思います。説明会に参加しなくても意見を出せるような状態にさせていただくことが大事ではないかと思いました。</p> <p>保護者の意見が取れていないので、個人的な意見になりますが、小学校の適正規模を示されていて、小学校の方が先ではないかと思っています。幼稚園は長くて3年、小学校は6年あります。小学校の小規模の問題の方が大きいのではないかと考えています。中学校再編も準備して、幼稚園もやります。小学校だけ中抜きで、今検討中というような状態では、何か繋がりに欠けているというような気持ちがあります。</p> <p>保育ニーズの多様化で長時間保育のニーズの高まりというのがある</p>	<p>資料のあり方につきましては意見交換会を開催するときの参考とさせていただきます。</p> <p>資料集 7 ページの表 4 に保育率の推移があります。令和 3 年度の 3 歳児から 5 歳児の保育率は 45.2% で、この数字は平成 29 年から掲載していますが、年々、お預けになりたいという方の率が増えてきています。</p> <p>これを見ますと、保育ニーズが高まっているということをご確認いただけるかと思えます。資料集 12 ページでは、園区内のお子さんのうち、就学前施設に在籍されているお子さんの数をお示ししています。この数字を読み取る中では、ニーズはあると私たちは受け取っています。これを見て、ニーズがないとはなりにくいと考えております。</p> <p>受け入れが足りるのかということですが、認定こども園化した後の定員は 3 歳のお子さんが 25 人、4 歳のお子さんが 30 人、5 歳のお子さんが 30 人。当初 5 歳のお子さんは皆さんを受け入れるために 35 人としており、全体として 90 人と考えていますので、集約する園のお子さんの数は十分に受け入れられるというところで計画はさせていただいています。</p> <p>道路や駐車場のことを懸念されているのは、当然のことだと思いますし、対応はしていかないとはいけませんが、この再編計画案が計画として確定した上で、例えば駐車場や通園バスの進入路など、具体的なことについてのお話を一</p>

	<p>りましたが、そういう意見があるということですか。それとも2号認定のお子さんが多くいらっしゃるという意味ですか。それと全員入れる新しい認定こども園は想定されている規模で足りるのか。</p> <p>賛成、反対という話があるので、賛成だったとき、先の話をするのもちょっと話が違うと思っています。</p> <p>私はこの説明を受けてから再三言わせてもらっているのは、バスを出して職員も増えるのであれば、「バスの転回場所はどようになりますか」、「駐車場まで入ってくるルートはすれ違いが難しいです」、「駐車場も狭いので、今でもいっぱい状態をどうするのですか」。今回も盛り込まないといけないで終わっていますが、もう少し早く具体的に出してもらわないと賛成という手も挙げにくいということを言わせていただきます。</p>	<p>緒に進めていかないといけないと思います。計画に盛り込むかどうかというような段階ではないのではないかとのお話しかと思いますが、通園バスのことも、実際に通われる方などに直接的にお話をさせていただくことが必要になってくると思います。</p> <p>志手原のことでいいますと、駐車場の進入路は確かに道が狭いので、すれ違いのための退避を考えないといけないとかいうことは私たちも思っております。ただ、具体的な協議というのは、計画案が計画となった段階でさせていただかないといけないことだと思っています。</p> <p>そういう意味でいうと、計画案を計画とする段階では、具体的にそのことを協議する内容であるということと計画の中に盛り込むことによって、市もそれを協議する項目として認識しているし、担保していくという形にするのが良いのではないかとこのところでは思っています。</p> <p>懸念されている内容は十分に理解できますし、協議していかないといけないとは思っていますが、駐車場の台数をこれだけにしますとか、道路をこのぐらい拡張しますというような具体的な手順を今、この計画に書くというのは難しいというところをご理解いただきたいと思います。</p>
	<p>具体的に書いて欲しいということではなく、そういう問題があるのでそこも検討しますということを計画に書いて欲しいです。</p>	<p>今ご意見いただいたものを検討することはもちろん必要だと思っております。</p>
E	<p>中学校の再編計画、幼稚園とわかりますが、仮にそれが統廃合されたとして、子ども・未来部や教育委員会の仕事ではないとわかりますが、これから先に若い子育て世代の皆さんに来ていただける、住み続けていただけるようなことは、どなたが、どこの部署で考えていただけることですか。</p> <p>今回はこういう単位になりますが、今後の人口減少によって、また何年か先、次はどういう単位になっていくのか。さらに次の世代のこともあります。そういうこともまた考えられているのかと心配になっています。</p>	<p>計画への掲載を検討するものとして、地域の活性化について書かせていただいています。農村地域、全市域のもそうですが、いろんな地域の活性化というのが重要で市の総合計画にもあります。その中では、農業が三田市の基幹産業であるというような位置づけもしております。そこを担っている農村地域の活性化なしに三田市が三田市であることはなかなか難しいのではないかと考えているところです。</p> <p>誰がどのようにということですが、先日もこの意見交換会を開催する前に関係部署を集めて、「こんな説明をさせていただいて意見交換をします」というお話しをしました。その中では、当然、農村地域の活性化についてもお話が出てくると思いますので、それについては市をあげて取り組んでいくと、市長もそういった指示をしておりますので、それについては三田市役所全体でという形になるかと思っています。</p> <p>具体的な取り組みとしては、農業振興の分野など、いろんな分野があると思いますし、それぞれの地域全体のご意向みたいなものも確認をしていく必要もある</p>

		<p>と思います。どんな地域にしたいというご意向も地域の中ではあって、志手原校区では地域計画というようなものもできているとお聞きをしておりますので、そのあたりを市役所とも共有をして、市役所と地域の皆さんの役割分担をしながら、より良い地域になっていくように取り組んでいきたいと思っていますところではあります。</p> <p>そういった計画がない地域もありますし、そういったことが始まっていない地域もあります。ただ地域の活性化にあたっては、皆さんがどんな地域にしていきたいのかというところについては、現状も含めて、一緒に考えていかなければならないのかなと思っています。一度に済むものではないですし、少しずつ前に進めていかなければいけない部分もありますので、何かありましたら、まず私たちが担当部署につなぐことも可能ですので、何なりとお話しいただいたら結構でございますのでよろしくお願いいたします。</p>
--	--	---